



弟子の掟⑭

シリーズ～弟子道～

2011/10/16

マタイ福音書6章24～29節

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。わたしのこれらの言葉を聞くだけで行わない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家に襲いかかると、倒れて、その倒れ方がひどかった。」

「これらの言葉」とは

- 「その供え物を祭壇の前に置き、まず行って兄弟と仲直りをし...」
- 「不法な結婚でもないのに妻を離縁する者は...」
- 「右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」
- 「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」
- 「右の手のすることを左の手に知らせてはならない」
- 「祈るときは、...くどくどと述べてはならない」

「これらの言葉」とは

- 「富は、天に積みなさい」
- 「何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思い悩むな」
- 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい」
- 「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む」
- 「人を裁くな。兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか」
- 「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」

賢い人と愚かな人

- 家を、岩の上に建てるか、砂の上に建てるか
- イスラエルには雨期の時だけ川になる「ワジ」と呼ばれる場所がある
 - ワジは水によって砂が運ばれるので、普段は砂地で平らであるが、雨期には川になる。岩は平らな部分がないが、雨期になっても崩れることはない
- 「賢い人」は雨期を知っているので、困難でも岩の上に家を建てるが、「愚かな人」はそのことを知らないので、楽な砂の上に建てる

聞いて行るか,聞いただけか

- 「これらの言葉」を聞いて行かう人は、岩の上に家を建てた賢い人である
 - 「雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった」
- 「これらの言葉」を聞いただけの人は砂の上に家を建てた愚かな人人
 - 「雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家に襲いかかると、倒れて、その倒れ方がひどかった」

しょうと思うができない

- 謝った方がよいと思うが謝れない
- 嫌いな人に良くしてあげるべきだと思うけどできない
- 誰にも知られず良いことをしたいけど、誰にも知られないのはいやだ
- お金の心配をすべきではないと思うけど、どうしてもまずお金のことを考えてしまう
- 神様が養い、着飾って下さると思っているけど、金持ちを見ると羨ましい
- してもらいたことを要求するが、してあげるのはおっくうだ

しなくてよいことはしてしまう

- 悪口を言わない方がよいと思うけど、ついつい言ってしまう
- 見てはいけないと思うものを見てしまい、食べてはならないと思う者と食べてしまう
- 思い悩まないようにしようと思うけど、気がついたらため息をついている
- 「裁くな」と言われているけれど、人の悪いところばかりが目につき、批判してしまう
- 明日のことは明日が思い煩う、と言われてても、明日のことが気になって今日すべきことができない

行う人は試練に強い！

- 砂の上の家も、岩の上の家も、何もない時には同じ姿である
- しかし、「雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っ」た時、その強さが明らかになる
- 「これらの言葉」を聞いて行う人は、思わぬ困難や試練にあったても揺るがないが、行わない人は、慌てふためき、混乱し、行き詰まる

弟子の掟

- イエス様の言葉を聞くだけではなく、普段から実行し続ける
- 聞くだけで行わなければ何の意味もない
- 実行は困難を伴うが、試練にあった時、揺らぐことがない
- 聞くだけの「愚かな人」ではなく、聞いて行う「賢い人」になろう！